

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	現在、ご家族の意見、要望を頂戴できる場として二ヶ月に一度、家族会を開催しているが、参加人数に物足りなさを感じ、参加されるメンバーもほぼ決まった方々である。	各フロア、三分の二以上の御家族に毎回参加して頂く。	①面会時に直接、次回開催日のお知らせを行う。②開催ご案内以外に、毎月のお便りにも家族会開催案内を加える。③HP等にて家族会での意見を反映した取り組みを開示し、家族会参加への関心を高めて頂く。	6～12ヶ月
2	27	職員間で記載内容に「濃い」「薄い」のばらつきがみられる。	職員全員が気づきや工夫も記載し、情報の共有や介護計画の見直しにも活かされる記録の作成が出来るようになる。	管理者が職員全員参加のフロア会議時などに理想的な個別記録の見本を基に「個別記録の書き方」研修を行う。研修後の記録に不十分なものがあれば見過ごさず、職員同士でアドバイス等を行い、全員が適切な記録が書けるようにする。	6～12ヶ月
3	34	緊急な入院決定時は慌ててしまい、段取りに手間取り、瞬時的確な対応をとる事が思うようにできていない。	職員全員が事故発生時や急変時にも平常心で対応できる。	管理者が職員に行う応急処置・緊急時対応の研修を今年度も実施。また、受診や救急搬送時の付き添いに経験のない職員を同行させ、職員全員が経験を重ねて慣れて行く。	6～12ヶ月
4	2	地域密着型の施設でありながら、いまだ事業所全体、地域との日常的な交流が出来ていない。	地域の方々が認知症相談などに気軽に立ち寄れる場所になる。	先月から月二回、同じ地域の介護事業所さんのスペースで共同オープンした認知症カフェが、今後、地域の様々な方々と馴染みの関係になる架け橋にする。	6～12ヶ月
5	26	サービス担当者会議に参加いただけないご家族がいる。	入居されている利用者様のすべてのご家族がサービス担当者会議に出席され、介護計画を作成、更新する。	サービス担当者会議の開催日時を設定を一番にご家族に相談し、家族の都合の良い日を優先して設定する。	6～12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。